

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名	セーフティパトロール事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	安武 祐次
体系	施策	2	防犯対策の推進		所属課	学校教育課	担当者名	上村 祐一郎
	基本事業	6	地域防犯対策の充実		所属班	総務施設班	(内線)	2213
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令 根拠	成果優先度評価結果	⑤
	一般	10	1	2	10027		コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成16年度に旧西合志町において開始され、合併後は市内全域に拡大して実施した。警備会社と委託契約を締結し、小・中学校の下校時間帯に自転車又は徒歩による通学路の巡回警備を行い、児童・生徒の安全確保と不審者等による犯罪抑止を目的とする事業。平成23年度から警備区域の見直しを行い、自主防犯組織のパトロールでは対応が困難な合志小、西合志第一小、西合志中央小の3小学校区のみを警備とした。
【業務の流れ】	①4月に指名競争入札により決定した業者と委託契約を締結する→②委託業者と各小中学校で巡回区域、業務内容についての打合せを行う→③巡回パトロールの実施→④月ごとに報告書(日報)を提出する→⑤毎月の委託料を支払う
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	P.T.Aより自主防犯組織のパトロールでは対応できない地域もあるため、存続を希望する要望書が提出された。平成23年度の事業仕分けにおいて、一部地域に対する巡回警備について公平性の観点からの疑義があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
㈱ホームセキュリティへの業務委託により、市を東地区(合志小校区)と西地区(西合志第一小、西合志中央小校区)の2ブロックに分け、3人のパトロール隊員により下校時間帯に自転車又は徒歩で巡回を行い、児童・生徒の安全確保と犯罪の抑止及び防止に努めた。	㈱ホームセキュリティへの業務委託により、市を東地区(合志小校区)と西地区(西合志第一小、西合志中央小校区)の2ブロックに分け、3人のパトロール隊員による巡回警備を行なう。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア: 延べパトロール日数	日
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内小学校3校区(合志小、西合志第一小、西合志中央小)を下校する小中学生	(単位)
	→ア: 児童生徒数
	→イ: 小中学校数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
安心して下校できる	(単位)
	→ア: 下校時の事故発生件数
	→イ: 不審者の目撃情報
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
巡回パトロールを行うことにより、事故や不審者出没の抑制につながっているかどうかをそれぞれ発生件数や目撃件数で把握する。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

各指標・総事業費の推移	単位	24年度	25年度	26年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア 日	339	609	609	609	609	609	609	609
	イ								
②対象指標	ア 人	1,770	1,938	1,938	1,934	1,938	1,938	1,938	1,938
	イ 校	5	5	5	5	5	5	5	5
③成果指標	ア 件	2	0	0	0	0	0	0	0
	イ 件	12	1	0	0	0	0	0	0
投資 入 費 量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	2,226	2,226	2,998	2,657	2,998	2,925	2,925
	(A)事業費計	千円	2,226	2,226	2,998	2,657	2,998	2,925	2,925
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	0	3	2	3	3	3
延べ業務時間	時間	162	0	160	90	160	160	160	
(B)人件費計	千円	659	0	637	358	637	637	637	
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,885	2,226	3,635	3,015	3,635	3,562	3,562	

事務事業名	セーフティパトロール事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 安全安心な下校環境の実現を目標に成果指標を0件に設定したが、偶発的な事故や不審者等の出没を完全に防ぐことは困難であり、目標を達成することはできなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 目標値はあくまでも理想値であり、現実には難しいと考えるが、巡回警備の抑止効果により、発生件数が極力0に近づくよう取り組みたい。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現行の警備体制（人員、区域、時間帯）では向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託の費用は現時点でかなり安価に抑えられている。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最少の時間と人員で対応している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 自主防犯組織が対応できない校区を対象としているため、公平になっていない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 人口密集地域においては地域の力を活用できるが、そうでない地域については行政が行うべきである。よって今後も現状を維持する必要がある。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

セーフティパトロール隊は、児童・生徒の見守りだけでなく、不審者の発見、未成年者の喫煙等への注意等、様々な事例に対応しており、地域住民からも高い信頼を得て感謝されている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						